

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	Exploring the Long-Term Impact of Learner-Generated AI Visuals on EFL Vocabulary Acquisition and Retention				
研究組織	代 表 者	所属・職名	言語コミュニケーション 研究センター・特任講師	氏名	MOSTAFANEZHAD Mohammad
	研究協力者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	言語コミュニケーション 研究センター・特任講師	氏名	MOSTAFANEZHAD Mohammad

講演題目
Exploring the Long-Term Impact of Learner-Generated AI Visuals on EFL Vocabulary Acquisition and Retention
研究の目的、成果及び今後の展望
目的 本研究は、「Exploring the Long-Term Impact of Learner-Generated AI Visuals on EFL Vocabulary Acquisition and Retention（学習者生成 AI ビジュアルが EFL 語彙習得および長期記憶保持に与える影響の探究）」を主題とするものである。特に、学習者自身が生成系 AI を用いて作成した視覚的素材が、語彙の記憶保持および想起能力の向上にどの程度寄与するかを検証することを目的とする。教育学および学習科学の観点から、AI を活用した新たな語彙学習手法の有効性を明らかにすることを目指す。 当初の目的・計画に対しての達成状況 当初の研究計画においては、生成系 AI を活用した語彙学習手法の理論的基盤の構築および、その教育的有効性の検証を目的としていた。現在までに、関連する文献レビューは概ね完了段階にあり、生成系 AI の教育応用および記憶保持に関する理論的理解が深化している。また、複数の AI ツールの機能および応用可能性についての調査・検討も進展している。一方で、AI 関連知識の体系的習得のために各種講座の履修に時間を要したことにより、当初予定していたスケジュールに若干の遅延が生じている。今後は、実証的研究段階へ移行し、学習者の語彙想起力の変化を測定・分析する予定である。 研究成果の公表状況（論文・ホームページ・学会発表その他） 現時点において、本研究に関する論文発表、学会発表、またはその他の形態による成果公表は行っていない。今後、研究の進展に伴い、学会発表および論文投稿を計画している。 研究分野への今後の貢献度 本研究は、生成系 AI を活用した語彙学習の新たな枠組みを提示することにより、外国語教育分野における教育実践および理論の双方に貢献することが期待される。特に、学習者主体の AI 活用による記憶保持および想起力の向上に関する知見は、今後の AI 支援型学習フレームワークの構築に寄与すると考えられる。また、学習科学の観点から、効果的な記憶定着方略の開発にも資する可能性がある。 その他 本研究は、生成系 AI、外国語教育、学習科学を横断する学際的性質を有しており、理論的検討と実践的応用の両立を重視している点に特徴がある。また、急速に発展する AI 技術の教育的活用に関する最新動向を踏まえつつ、実証的データに基づく検証を行うことで、実践的かつ持続可能な教育手法の確立を目指すものである。以上の点は、本研究の独自性および意義を評価する上で重要な要素となる。